

海外安全情報（ジカウイルス感染症の流行及び強盗事件の発生について）

平成28年5月20日

当館管轄国にお住まいの皆様, 「たびレジ」ご登録者の皆様

1 ジカウイルス感染症について

カリブ地域では, Pan American Health Organization (汎米保健機構) などがこれまで発表した数字によるとバルバドス9人, ドミニカ国18人, グレナダ2人, ガイアナ6人, セントルシア2人, セントビンセント3人, スリナム527人, トリニダード・トバゴ23人のジカウイルス感染症患者在確定診断されたと公表しています。なお, 同地域では今のところ小頭症の発生の報告はありません。

ジカウイルス感染症には特別な治療や予防のためのワクチンはありませんので, 蚊に刺されないことが最も有効な予防手段です。家の周囲などに蚊が繁殖する水たまりを作らないこと, ネットイシマカが活動的になる日中から夕方にかけては肌を露出しない衣服を着用し, 蚊に有効な虫除け剤を使用するなどして蚊に刺されない工夫をしてください。

なお, 虫除け剤には同じブランド名でも有効成分の濃度が異なるものがあり, 一般的には濃度が低いものは効果の持続時間が短く, 使用頻度を多くする必要がありますので, 使用の際には製品に記載された用法・用量に従い, 適切に使用してください。

またスプレー式のものでも肌に噴射した後に手でまんべんなく広げるなどしてムラのないように塗布することも有効です。

ジカウイルス感染症の流行に伴い, 各国には外務省から感染症危険情報を発出しています。この度, 危険情報についても新規に「レベル1: 十分注意してください」を発出しました。詳細についてはこちら

(http://www2.anzen.mofa.go.jp/kaiian_search/pcinfectioninfolist.asp?pageno=1) をご参照ください。

また, ジカウイルスはいったん感染すると精液中に比較的長期間残存し, 性交渉により感染を起こすことがあります。流行地域へ渡航した男性で, 特に妊娠中のパートナーがいる場合は, パートナーの妊娠期間中は, 症状の有無にかかわらず, 最低4週間は性行為の際にコンドームを使用するか, 性行為を控えるようにしてください。

2 強盗事件の発生について

今月18日午前9時頃, トリニダード・トバゴ首都ポートオブスペイン内の Tragarete Road と Herbert St. の交差点付近において, 車の中で携帯電話を使用していた女性に対して, 上半身裸の黒人男性(アフリカ系, 短めのラスタヘア) が近づき, 携帯電話を渡すよう要求しました。女性が拒否したところ, その男から暴行を受け傷害を負い, 携帯電話も奪われたということです。その男は現在も逃走中です。

現場を管轄する Woodbrook Police Station によると, このような事件は, 同地域ではこれまであまり発生していないということでしたが, 特にトリニダード・トバゴでは殺人事件などの凶悪事件が広範囲に拡散している傾向もあり, 皆様におかれましては車を運転

中も鍵をかける，目立つ場所では携帯電話（スマートフォン）を使わないなどを平素から防犯意識を持った行動をお願いします。

（お問い合わせ先）

在トリニダード・トバゴ日本国大使館領事・警備班

電話＋１－８６８－６２８－５９９１（代表）

E-mail : ryouji@po.mofa.go.jp